

## 補助金調書

補助金名	売る漁業推進事業補助金			担当課 (連絡先)	農林水産局水産部水産振興課 (TEL711-4364)	
交付先	団体	福岡市漁業協同組合		区分	その他の補助金	
交付先決定方法	非公募	(公募の場合) 公募時期				
(公募の場合) 応募要件						
補助開始年度	6	年度	経過年数	19	年度	
補助金の目的 及び 補助対象事業	福岡市漁協が実施する販売事業強化のための「直販事業」や「体験漁業」に助成し、水産業への理解促進、水産物の消費拡大や漁家経営の安定を図る。					
交付対象経費及び 補助金の算定方法 等	その他	<b>【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】</b> ・各種イベントの開催: 地域特産物(養殖もの等)PRのイベント及び朝市・夕市等 補助金: 総事業費(4,740千円)の1/2以内 ・体験漁業の実施: 小型底曳網漁業 補助金: 総事業費(828千円)の1/2以内				
交付状況等 【上段: 交付件数】 【下段: 決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度		
	件	1 件	1 件	1 件		
	2,784 千円	3,276 千円	3,276 千円	2,716 千円		
前年度補助事業 の主な実施概要	・直販事業 西浦さかなまつり(H23.10.16), 唐泊夏のカキ焼き小屋イベント(H23.7.24~8月), 朝市・夕市・直販市等の開催(姪浜・玄界島 他) ・体験漁業 「漁船でGo!」志賀島(H23.7.24)参加者39人, 姪浜(H23.8.20)参加者10人					
補助金交付 による効果	直販事業については、西浦のさかなまつり(H3年~)や姪浜の朝市、伊崎・弘の夕市が開始され(H6~7年)、平成15年に唐泊カキ小屋、平成21年に玄界島直販市、志賀島の朝市が開催されるなど、漁業者を主体とした取組が進められるようになり、所得向上や魚食普及・地産地消等に寄与している。 また、体験漁業で実施しているアンケート(平成24年度調査)では、漁師の仕事が「わかった」と答えた人の割合が100%、今までより魚を食べる回数を「増やしたい」と答えた人の割合が86%あり、体験漁業が漁業や漁師について理解する良い機会となっている。					

※1: 金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。また、当該年度は当初予算額を記載しております。